

社会システム論で社会を読み解く

日 時 : 2013 年 10 月 23 日 (水) 13 時 00 分 - 16 時 50 分
会 場 : 日本大学 経済学部 7 号館 2 階講堂 (最寄り駅: JR 水道橋駅)
主 催 : 横幹技術協議会、横幹連合 2013 年 10 月 23 日 (水) 13 時 00 分 - 16 時 50 分
参 加 費 : 横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は参加無料。
当日資料代: 1,000 円

【上記以外】一般 2,000 円 (資料代込)

参加申込: 【事前登録】オンライン申込 (http://www.trasti.jp/forum/forum39_kyg.html)

【企画趣旨】

製造業における技術開発においては、「よいもの」を開発することこそがその目的である。しかしながら、技術者が誰にとって「よいもの」なのかを見失ってしまうと、必ずしも利用者のニーズに沿った「ものづくり」とはならないことになる。これを回避するには、シーズ先行の「ものづくり」ではなく、利用者あるいは社会のニーズを把握する必要がある。この背景を踏まえ、社会システム論の立場から、3 人の社会学者に、組織活性化、政治的システム、都市について論じていただく。

【プログラム】

		(敬称略)
13:00-13:10	開会にあたって	総合司会: 櫻井 成一郎 (明治学院大学 教授) 桑原 洋 (横幹技術協議会 会長)
13:10-14:10	◆ 講演1 組織活性化の条件一人と組織のエンパワーメント	今田 高俊 (東京工業大学 教授)
14:10-15:10	◆ 講演2 友敵のコードが生み出す政治的システム	中井 豊 (芝浦工業大学 教授)
15:10-15:20	休 憩	
15:20-16:20	◆ 講演3 社会システム論から<都市>を考える ～東京・上海・ディズニーランド～	遠藤 薫 (学習院大学 教授)
16:20-16:45	◆ 総合討論	司会: 櫻井 成一郎 講師の皆様
16:45-16:50	閉会にあたって	出口 光一郎 (横幹連合 会長)

社会システム論で社会を読み解く

2013 年 10 月 23 日（水）13 時 00 分－16 時 50 分

【 講 演 要 旨 】

講演1

「組織活性化の条件一人と組織のエンパワーメント」

◆ 今田 高俊（東京工業大学）

概要：組織が活性化しているとは、環境適応力ではなく自己適応力が高い状態を意味する。「内破」、つまり内側からシステムを壊し、差異を分節化して再構築する自己組織化能が活性化していることである。本講演では、人と組織のエンパワーメントを通じた自己組織化能の発揮について社会システム論の観点から考えてみる。

講演2

「友敵のコードが生み出す政治的システム」

◆ 中井 豊（芝浦工業大学）

概要：代表的なシステム論であるルーマンの社会システム論は、様々な社会システムをコミュニケーションの連鎖によって再生産されてゆくものと捉えるが、その背景に、当該システムのコミュニケーションが固有のコードによって定義付けられ固有のプログラムにより運用されるとみなす。本講演では、政治的なものの本質が友と敵の区別であるとのカール・シュミットの言説を援用し、友と敵のコードからエージェント・ベースの政治的なシステムを構成し得ることを示して、システム論と進化シミュレーションの関係を考察してみたい。

講演3

「社会システム論から〈都市〉を考える」～東京・上海・ディズニーランド～

◆ 遠藤 薫（学習院大学）

システム論は生命科学から生まれた理論であり、自然システム-生命システム-社会システムを統合的に考察する視座である。ただし、社会システムの特徴は、その作動が〈意味〉の領域において評価される点である。本講演では、グローバル化のなかで発展する東京、上海とディズニーランドを、その〈意味〉の構造および生成過程と重ね合わせつつ、システム論的に考察する。

<第 39 回横幹技術フォーラム 申込書>

1.お名前： _____ 2.ご所属： _____

3.電子メール： _____ 4.TEL： _____

5.参加費区分：※該当するものに○印をつけてください。

- (a) 横幹技術協議会会員企業の関係者 (b) 横幹連合会員学会の会員 (学会名： _____ 学会)
(c) 学生 (d) その他

交通案内

<http://www.eco.nihon-u.ac.jp/about/maps/>

日本大学 経済学部 7号館 2階講堂

最寄駅：JR、地下鉄 水道橋駅 ・地下鉄 神保町駅

